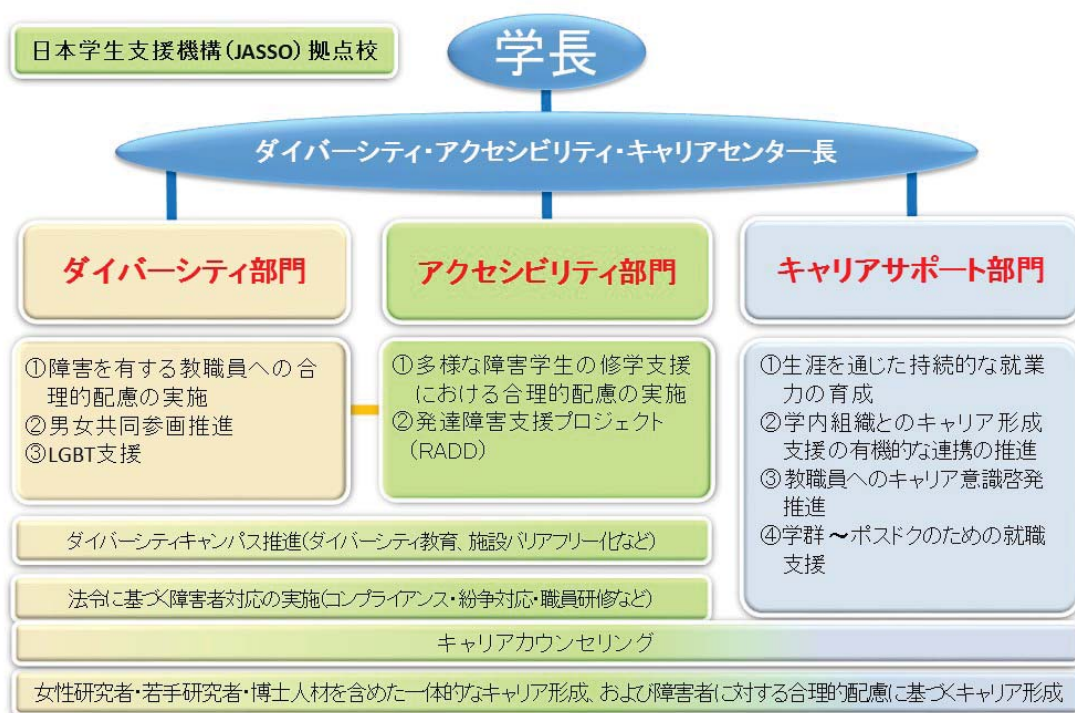


# 平成28年度 「全国キャリア・就職ガイダンス」

筑波大学  
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
久保田 優

## 筑波大学における障害学生支援体制

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)



# キャリアサポート部門における(発達)障害学生への就労支援



2

## 障害のある学生を対象とした「Career Cafe」

- キャリアサポート部門と連携して学生のキャリア形成に向けたワークを定期的実施 (月1回程度)
- アクセシビリティ部門を利用している障害学生が対象
- 平成28年1月には発達障害学生を中心としたキャリアカフェを企画

DACセンター  
アクセシビリティ部門  
キャリアカフェ

～就業・生活面の支援について～  
2016年  
1月7日(木) 15:15-16:30  
筑波大学 第二エリア 2A209教室

15:15～16:00 [45分]  
議題：企業研究での活用についての講話  
＜内容＞  
第1 障業の現状の概観と近年の発達障害者の雇用の現状について、  
・発達障害者に対する企業での採用の現状について  
・企業に就職した発達障害者の生活面での支援について  
・企業に就職した発達障害者の生活面での支援について  
講師：岡野 結子氏  
山崎 拓哉氏 (DAC 開発部長、主務官兼センター)

16:00～16:30 [30分]  
議題：個別相談会  
議題：就業・生活支援センターの紹介と、企業研究

【対象者】本学に在籍する発達障害のある学生 (発達障害者支援法に基づく障害者学生) ※参加希望の方は、事前に下記の連絡先までお問い合わせください

お問い合わせ DACセンター アクセシビリティ部門  
担当：石谷 幸樹  
E-mail: sgstaxxy@human.tsukuba.ac.jp

### 【課題】

発達障害学生のキャリアの問題に対して大学ではアプローチすることが難しい一方で、学生の支援ニーズは高い

### 【キャリアカフェの開催】

地域支援機関である「障害者就業・生活支援センター」の職員より講話  
12名の参加者があり、内9名について個別相談を実施

### 【アフターフォロー】

キャリアカフェ後、「障害者就業・生活支援センター」で継続相談 (現在、5名利用中)  
就業・生活支援センターとアクセシビリティ部門で定期的に情報交換をしている

3

## ①就労準備性の向上支援



Career Café



障害学生キャリアツアー

4

## ②障害受容と障害者雇用枠を視野に入れた就職支援



障害学生向け就職ガイダンス



障害学生のための合同企業説明会

【発達障害学生のための就職活動準備講座】  
平成26年、27年度各一回実施。  
平成28年度は、アセスメント部門新設も視野に実施予定。

【その他】  
● 障害学生受入企業へのインターンシップの活用  
※発達障害学生については、平成28年度から実施

5

# 発達障害学生を対象とした就職活動準備講座(1)

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター、学生相談室連携 特別講座

## 就職活動準備講座2015

### 「働く」ってどういうこと?

発達障害があったり、コミュニケーションや人間関係に苦手さを抱えている学生のみなさんを対象とした、就職活動準備講座です。同じつらさや不安を抱える参加者の人たちと悩みを分かち合ったり、仕事やシューカツ面接の体験を実際に行ってみることで、仕事や職業生活に活かせる自分の強みに気づくと同時に、在学中にどのような準備をしていくとよいかを考えるための講座です。

貴重な機会ですので、是非参加を検討して下さい。

**<こんな「悩み」や「望み」に効く講座です！>**

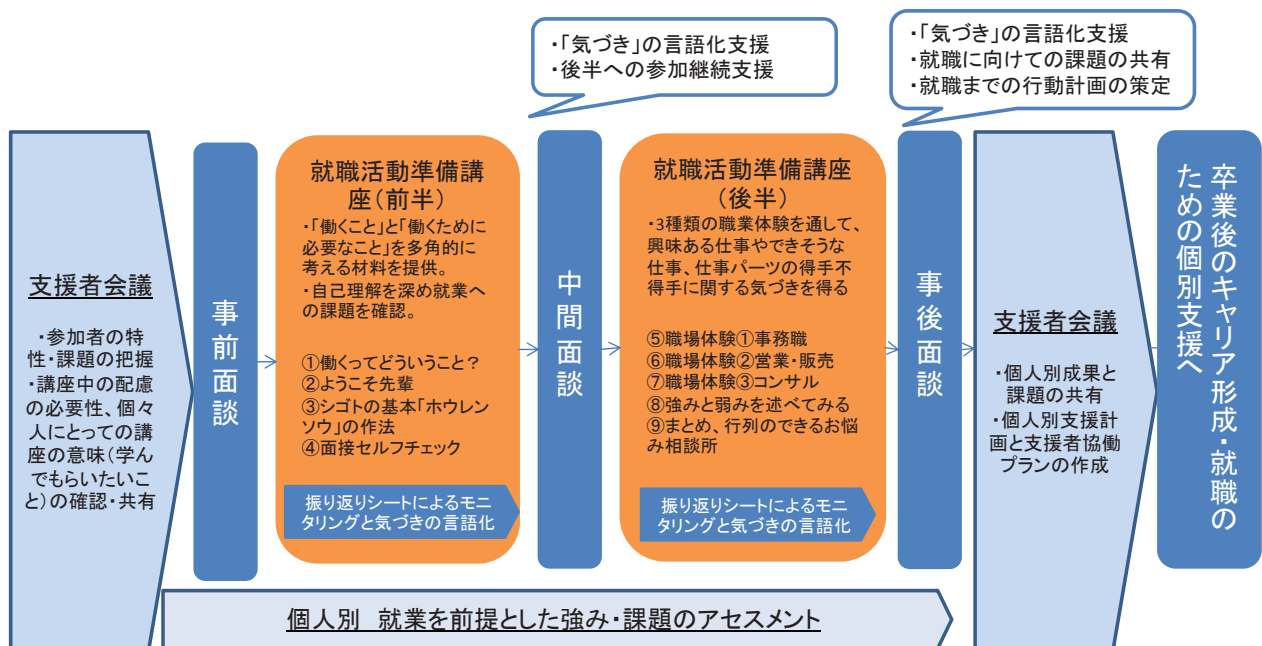
- コミュニケーションに困り感を抱えている
- 就活や社会で働いていくことができるかとても不安
- 事務の仕事を知りたい・体験したい
- 働く上で大切なマナーやスキルを知りたい
- 一緒にがんばれる仲間がほしい
- 卒業までにどんな力をつけていったらよいか知りたい...etc.

●日時: 11月13日～2月19日(全9回+2度の個別面談)※詳細は下記参照  
●場所: 人間学系棟(B207)  
●講師: 株式会社Kaian  
●定員: 10名

	日時※		内容
第1回	11月13日	(金) 15:10-16:40	オリエンテーション「働くってどういうこと?」
第2回	11月20日	(金) 15:10-16:40	ようこそ先輩! ～発達障害を持ちながら働いている先輩からのアドバイス
第3回	11月27日	(金) 15:10-16:40	シゴトの基本「ハウ・レン・ソウ」の作法
第4回	12月4日	(金) 15:10-16:40	就活プチ体験①面接セルフチェック
中間振り返り(個別)			
第5回	1月22日	(金) 15:10-16:40	職場コミュニケーション体験①事務のシゴト場
第6回	1月29日	(金) 15:10-16:40	職場コミュニケーション体験②営業・販売のシゴト場
第7回	2月5日	(金) 15:10-16:40	職場コミュニケーション体験③コンサル業のシゴト場
第8回	2月12日	(金) 15:10-16:40	就活プチ体験②強みと弱みを述べてみる
第9回	2月19日	(金) 15:10-16:40	まとめ～行列のできるお悩み相談所
まとめの振り返り(個別)			

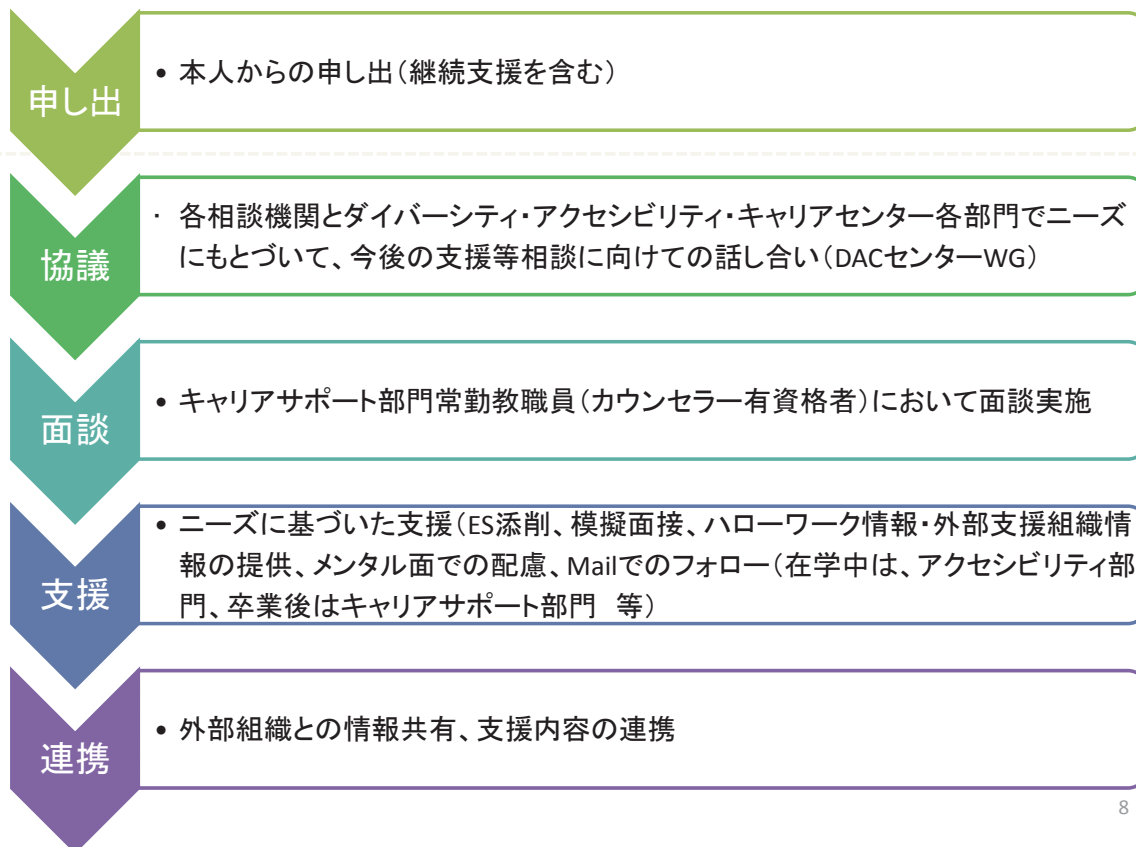
6

# 発達障害学生を対象とした就職活動準備講座(2)



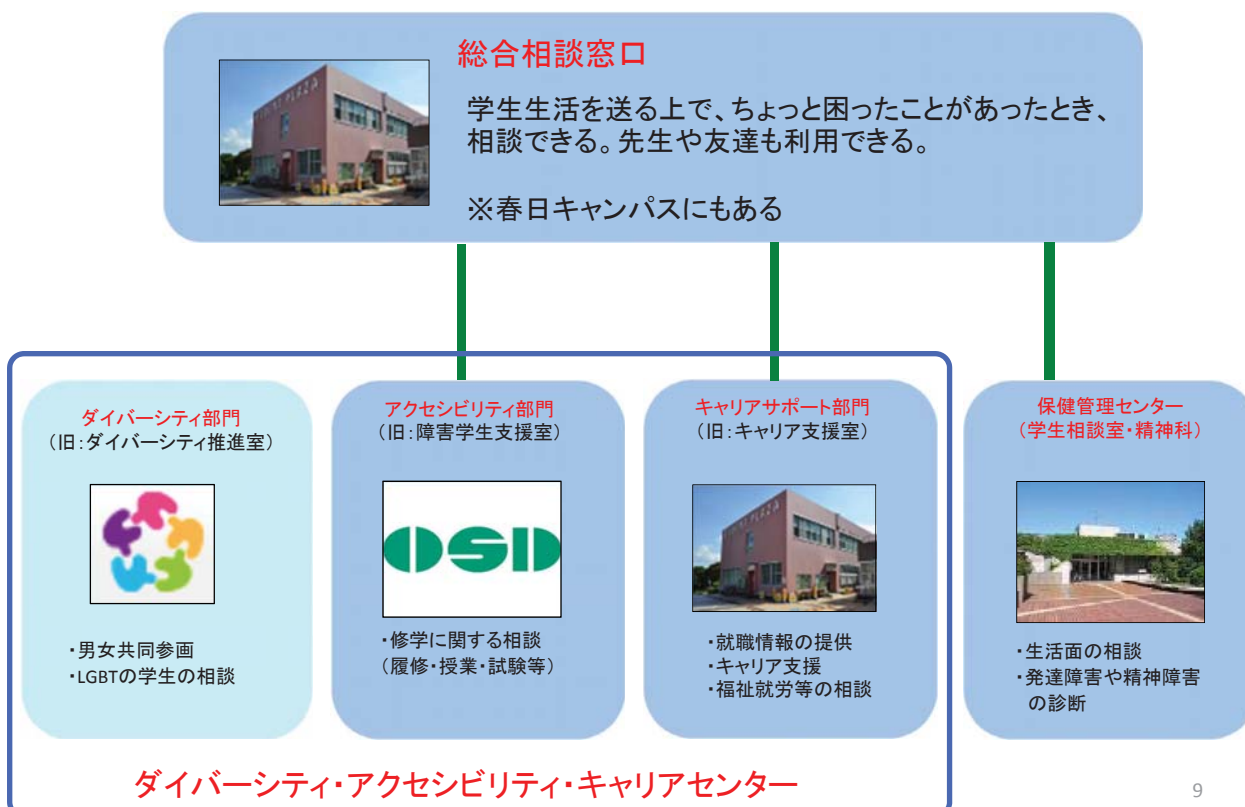
7

### ③卒業後のフォローアップ（就職活動の継続支援・職場定着支援）



8

### 発達障害学生が利用できる学内の相談機関



9

## その他 事務職員対象のグループワーク

- 事務職員対象の障害学生防災ワークを実施
- 事務職員より、「発達障害とはどんなものか」など積極的な質問がなされ、特性と対応に関する周知を行った
- ワークの内容は下記の通り

### 1. 発達障害の特性に関する講義

- 発達障害の特性について
- 本学で特に多い自閉スペクトラム症の特徴について
- 災害時に発達障害学生が困ることについて

### 2. 避難誘導時の対応方法に関する講義

- 災害時における発達障害学生のパニック行動の対応について
- 災害時における発達障害学生の避難誘導方法について

### 3. 仮想事例に対する避難誘導のグループワーク

- 地震の発生によってパニックを起こした学生の仮想事例を用意
- 実際に起きた事例に可能な限り近づけている
- 仮想事例に対して4～5人のグループで事務職員としてどのような対応ができるかを議論

## 発達障害学生の 特性を踏まえた 避難誘導方法について

平成27年度 障害学生支援防災ワーク  
2015/11/19 15:30-16:30  
筑波大学 DACセンター アクセシビリティ部門  
研究員 佐々木 銀河

↑ グループワークで使用したスライド



↑ グループワークの様子

10

## Open Campasにおける障害学生支援システム説明会及び相談コーナー



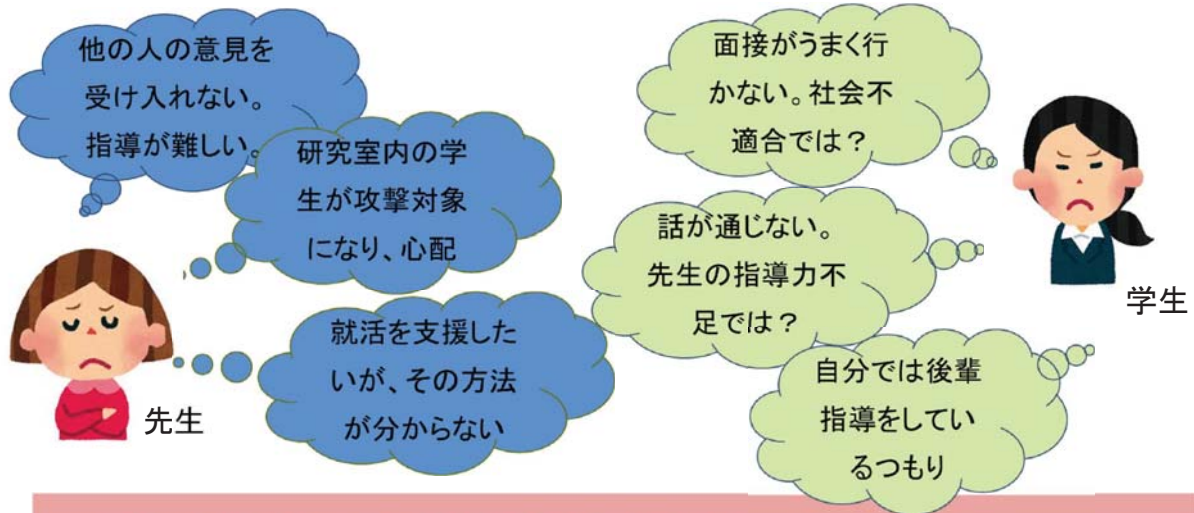
アクセシビリティ部門主催の  
障害学生支援に関する説明会の様子



発達障害のある参加者向けの  
個別の相談会の様子(イメージ)

## 発達障害が疑われる学生のための支援ルート(例)

総合相談窓口から学生の状況やニーズあわせた適切な支援組織への振り分け



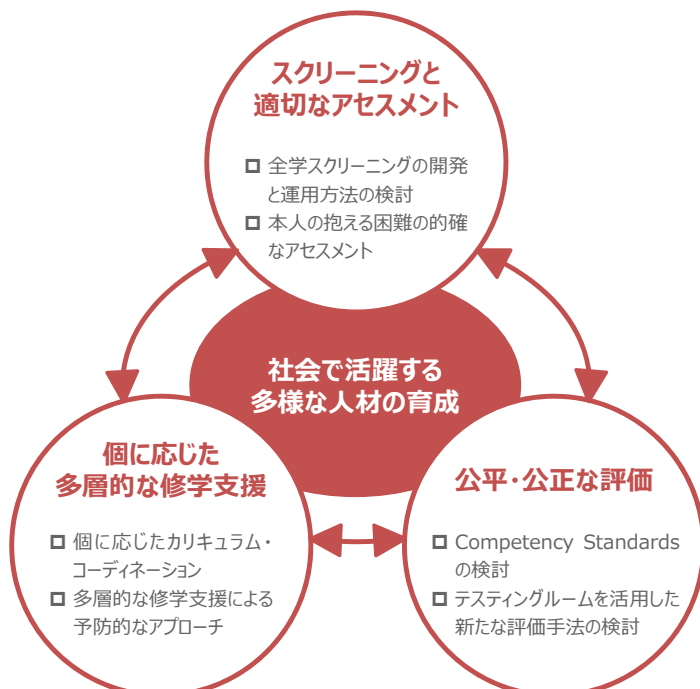
- 先生の了解のもと、周囲の学生が先生の指導のことで悩んでいるなら、総合相談窓口で相談してみたら？と助言→保健管理センターでASDの診断を受け、自分のコミュニケーションが取れない理由について、少しずつ理解するきっかけに。

➡ 各相談機関が連携して対応 12

## 文部科学省特別経費「発達障害学生支援プロジェクト」

### 発達障害学生支援プロジェクト事業のコンセプト

#### □ 3つの実践的アクションに基づく支援モデルの構築



#### 事業の目的

- 今後急激な増加が予想されるASD、ADHD、LDなどの発達障害学生のスクリーニング、支援の根拠となるアセスメント、公平な評価、修学支援の方法等に関する研究・開発を行う。
- 意欲と能力のある発達障害学生の修学機会を保障し、それぞれの能力を十分に発揮できる教育環境を整備する。

↓

自立して社会で活躍する多様な人材の育成に資する効果的な支援モデルを構築することを目的とする。

**ご清聴ありがとうございました。**

**筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
久保田 優**